



Chapter 3

データベースを作る (2)

Chapter 2 と Chapter 3 ではデータベースの作成手順の流れに沿ってご説明します。

Chapter 3 では、作成したデータベースにレコードを入力する方法、レイアウト・フィルター・クロス集計・帳票といった関連要素の利用、クイックアクションナビの設定についてご説明します。

データベース作成後の運用に役立つ便利機能を整備することで、業務システムをより活用することができます。

Chapter 3 : データベースを作る (2)

- ◆ レコードにデータを入力する・取り込む
 - ・ 方法1 : 直接入力する
 - ・ 方法2 : 表計算ファイルから取り込む
 - ・ 方法3 : 帳票から取り込む
 - ・ 方法4 : メールから取り込む
 - ・ 方法5 : 外部データを自動的に取り込む
- ◆ レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する
 - ・ レイアウト
 - ・ フィルター
 - ・ クロス集計
- ◆ 帳票を設定する
- ◆ クイックアクションナビを設定する

株式会社ジャストシステム

データベース作成の基本

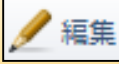
4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法1：直接入力する

データベース閲覧画面でコマンドバーの  ボタンをクリックし、表示される [新しいレコード] ダイアログで必要なデータを入力、保存します。

既存レコードを編集するには、編集したいレコードをダブルクリックするか、レコードを選択した状態で  ボタンをクリックします。

既存レコードを削除するには、削除したいレコードを選択した状態で  ボタンをクリックします。

- ✓ 複数のレコードのデータを同じ値で一括で更新するには、レコード一覧の左端のチェックボックスをオンにし  ボタンをクリックします

☐	浜松運送	広瀬治之	1.有効	444-222-8888	6320007	奈良県
☐	さくら宮市教育委員会	中野良夫	1.有効	444-111-9999	7860048	高知県
☒	(株) ローカルテレコムズ	鳥居圭子	1.有効	555-666-7777	0710477	北海道
☒	白松運送	川村勝久	1.有効	222-333-4444	0200504	岩手県
☒	(株) 精巧	下村莉那	9.無効	777-888-9999	6993212	島根県
☒	関越放送	羽田時子	9.無効	333-444-5555	2940011	千葉県
☐	松芝電気	松浦千夏	9.無効	777-222-9999	0680424	北海道

レコードの一括編集

顧客番号 (自動で入力)

☐ 顧客名

☐ 電話番号

☐ 所在地

☐ 郵便番号

☒ ステータス*

☐ ご担当者

☐ 県名

値を一括更新するデータにチェックを入れて編集・保存すると、選択したレコードがすべて同じ値で更新される

- ✓ データベース内の全レコードを一括で更新するには、ページ内の全レコードを選択して  クリック後、[全件編集へ] をクリックします

一括編集の確認

 選択された複数のレコードを一括編集します。よろしいですか？

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法1：直接入力する



- ✓ データベース内の全レコードを削除するには、ページ内の全レコードを選択して  ボタンをクリックします
- ✓ レコードの表示ページが複数ページにわたる場合は、削除確認ダイアログの [全件削除へ] をクリックします

☒	顧客名	ご担当者	ステータス	電話番号	郵便番号	県名
☒	西武大学医学部付属病院	小野寺 平一	0.無効	222-111-4444	2778581	千葉県
☒				999-666-2222	5150044	三重県
☒				555-222-1111	4480048	愛知県
☒	ハケンライフ	相田 守友	1.有効	888-444-3333	6078326	京都府
☒	日振古書堂	増井 孝	1.有効	666-222-8888	7300832	広島県
☒	ページアン保険	土橋 綾音	1.有効	555-666-5555	5161101	三重県
☒	イエロー金融	成瀬 優衣	1.有効	444-999-2222	4060812	山梨県
☒	製鋼自動車	小俣 紗菜	1.有効	333-888-7777	7713203	徳島県
☒	AOI	川原 欽也	1.有効	111-111-1111	0301412	青森県
☒	UCC証券	渡邊 結衣	1.有効	777-000-3333	8470002	佐賀県
☒	ブライダル証券	塚本 実江	1.有効	111-444-3333	8021601	鹿児島県

見出し行のチェックボックスをクリック
するとページ内の全レコードが選択される

削除の確認



選択された20件のレコードを削除します。
元に戻すことはできません。よろしいですか？

削除

キャンセル

全件削除へ

レコードが複数ページにわたる
場合は [全件削除へ] リンクを
クリック

削除の確認



すべてのレコードを削除します。
元に戻すことはできません。よろしいですか？

すべて削除

キャンセル

内容を確認して [すべて削除]
をクリック

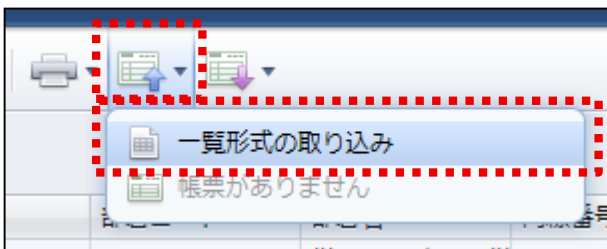
データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

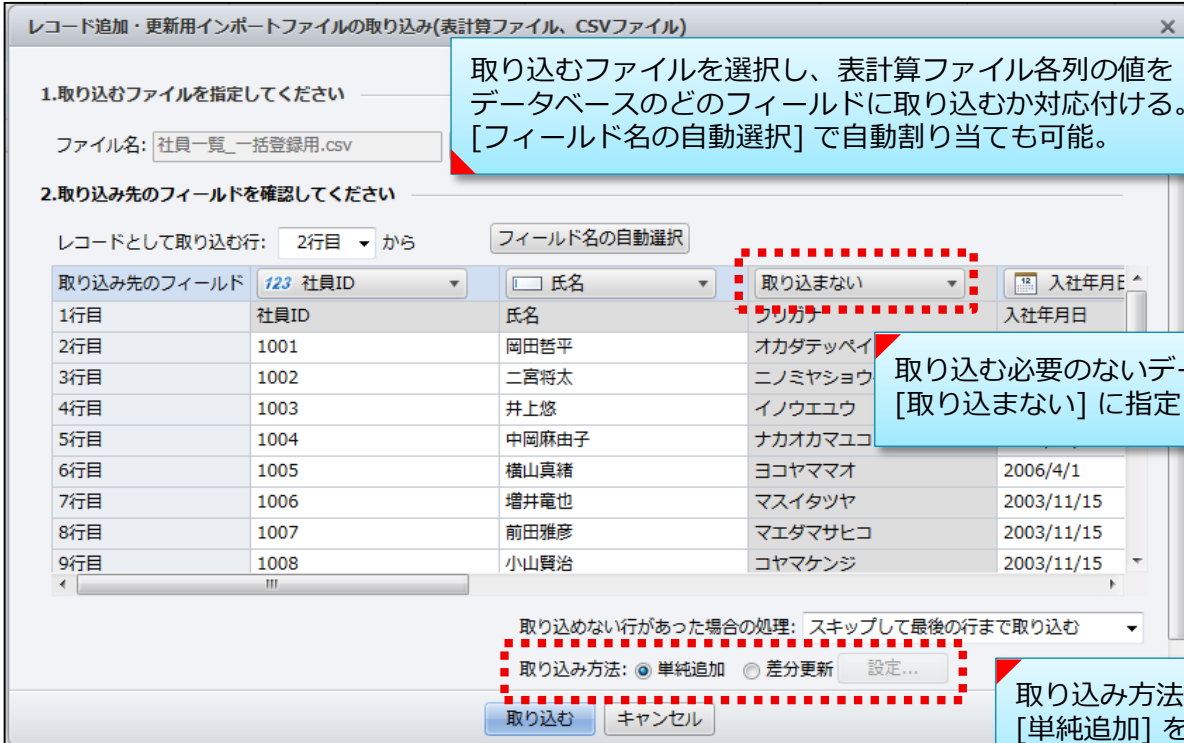
□ 方法2：表計算ファイルから取り込む（画面上の操作から）

画面上の操作から取り込む① - 単純追加

大量のレコードを新規追加するときは、表計算ファイルなどでデータを作成して、そのファイルをデータベースに取り込みます。
表計算ファイルのデータを取り込むときに、取り込む項目を指定することができます。



コマンドバーの [取り込み] をクリックし
[一括形式の取り込み] を選択する



- ✓ 画面上の操作から取り込み可能なファイル形式や、データの記述ルールなどは「3. データベースを作成する」>「作成方法2：表計算ファイルから作成する」の説明と同じです

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法2：表計算ファイルから取り込む（画面上の操作から）

画面上の操作から取り込む② - 差分更新

表計算ファイルから一括で既存レコードを更新することもできます。
取り込みの際に「キーフィールド」を指定し、その値がマッチしたレコードを更新します。
レコードが更新されたかどうかの判定に、「レコード更新判定用フィールド」を指定することもできます。

・キーフィールド

キーフィールドのデータが既存レコードとマッチする場合にレコードを更新します。
マッチする既存レコードがないデータについては新規追加されます。複数のキーフィールドを指定した場合、すべてのキーフィールドにマッチするレコードを更新します。
明細フィールドをキーフィールドに指定した場合、更新対象のレコード内の明細で、かつ明細フィールドにマッチする明細が更新されます。マッチする明細行が無い明細行についてはレコード内に追加されます。

※明細キーフィールドを指定しなかった場合、明細の値はすべて書き換えられます。
ただし、明細フィールドを一切取り込まない場合は以前の明細が存続されます。
また、明細内フィールドの一部を取り込んだ場合は、取り込まなかった明細内フィールドは取り込み後の明細行数分だけが存続されます。明細キーフィールドを指定しなかった場合、明細の値は全て書き換えられます。

※取り込まないフィールドやURL・選択リスト・ドロップダウンフィールドはキーフィールドとして指定できません。

※マッチするレコードが複数存在した場合は取り込めません。

・レコード更新判定用フィールド

更新判定として数値フィールド・日付フィールド・日付時刻フィールドを1つ指定できます。
指定した場合、更新するレコードが存在しても、インポートデータのフィールド値が大きい場合のみ更新され、そうでない場合はスキップされます。

※時刻フィールドは指定できません。

	A	B	C
1	社員ID	氏名	部署名
2	1003	井上悠	クラウド 事業部 営業課
3	1005	横山真緒	クラウド 事業部 営業課
4	1006	増井竜也	クラウド 事業部 第一開発課
5	1009	小川敏也	クラウド 事業部 第一開発課
6	1010	小高有海	クラウド 事業部 営業課
7	1013	堀田茂樹	クラウド 事業部 第二開発課
8	1019	及川一輝	クラウド 事業部 第二開発課
9	1020	呂野昌代	クラウド 事業部 営業課
10	1023	熊沢美佐	クラウド 事業部 第一開発課
11	1027	中里雅彦	クラウド 事業部 第二開発課
12	1029	脇田耕司	クラウド 事業部 第一開発課
13	1034	岡村彩華	クラウド 事業部 第一開発課

取り込む差分データを用意

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法2：表計算ファイルから取り込む（画面上の操作から）

画面上の操作から取り込む② - 差分更新

レコードとして取り込む行: 2行目 から フィールド名の自動選択

取り込み先のフィールド	123 社員ID	氏名	部署名
1行目	社員ID	氏名	部署名
2行目	1003	井上悠	クラウド事業部 営業...
3行目	1005	横山真緒	クラウド事業部 営業...
4行目	1006	増井竜也	クラウド事業部 第一...
5行目	1009	小川敏也	クラウド事業部 第一...
6行目	1010	小高有海	クラウド事業部 営業...
7行目			クラウド事業部 第二...
8行目			クラウド事業部 第二...

取り込み方法で [差分更新] を指定

取り込めない行があった場合の処理: スキップして最後の行まで取り込む

取り込み方法: ☐ 単純追加 ☒ 差分更新 設定...

差分更新の設定

キーフィールド:

- ☐ フィールド名
- ☐ 社員ID
- ☐ 氏名
- ☐ 入社年月日
- ☐ 部署名
- ☐ 内線番号
- ☐ メールアドレス
- ☐ 自宅住所

レコード更新判定用フィールド:

指定しない

OK キャンセル

キーフィールドとレコード更新判定用フィールドを指定した上で取り込む

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法2：表計算ファイルから取り込む（コマンドラインツールから）

コマンドラインツールを実行して取り込む

UnitBaseサーバー上にインストールされるコマンドラインツール（データインポートコマンド）を使い、データベースにCSVファイルのデータを取り込んだり、データベースに登録済みのデータを削除することができます。

例えば、Windowsのタスクスケジューラ機能でコマンドラインツールを定期実行し、既存の外部データベースからCSVファイルに出力したデータをUnitBaseに自動的に取り込む、といった応用的な使い方できます。

データインポートコマンドには以下の5種類の機能があります。

- ・単純追加
CSVファイルのすべてのデータを、新規レコードとして追加します。
- ・差分更新（削除あり）
CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値を比較しながら、UnitBase内のデータベースレコードを追加・更新・削除します。
CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBase内のデータベースに存在しないレコードは追加し、存在するレコードは更新します。UnitBase内のデータベースに存在し、CSVファイルに存在しないレコードは削除します。
- ・差分更新（削除なし）
CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値を比較しながら、UnitBase内のデータベースレコードを追加・更新します。
CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBase内のデータベースに存在しないレコードは追加し、存在するレコードは更新します。UnitBase内のデータベースに存在し、CSVファイルに存在しないレコードがあっても、レコードは削除しません。
- ・削除
CSVファイルとUnitBase内のデータベースとでキーフィールドの値をマッチングしながら、UnitBase内のデータベースレコードを削除します。
CSVファイルに含まれるレコードのうち、UnitBaseに存在するレコードを削除します。
- ・全削除
指定したUnitBase内のデータベースのすべてのレコードを削除します。

データインポートコマンドの設定方法や操作手順などは多岐に渡るため、詳細はマニュアル「データインポート・エクスポートガイド」を参照してください。

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法3：帳票から取り込む

帳票ファイルとして整形されたデータをレコードとして取り込むことができます。

帳票からのデータ取り込みを行うには、あらかじめ帳票取り込みテンプレートの設定をしておく必要があります。

詳細については、Chapter 9 でご説明します。

□ 方法4：メールから取り込む

メールに記載された内容や、メールに添付された帳票ファイルの内容をレコードとして取り込むことができます。

メールからのデータ取り込みを行うには、あらかじめメール受信設定・メール取込設定をしておく必要があります。

詳細については、帳票からのデータ取り込みと合わせて Chapter 9 でご説明します。

データベース作成の基本

4. レコードにデータを入力する・取り込む

□ 方法5：外部データを自動的に取り込む

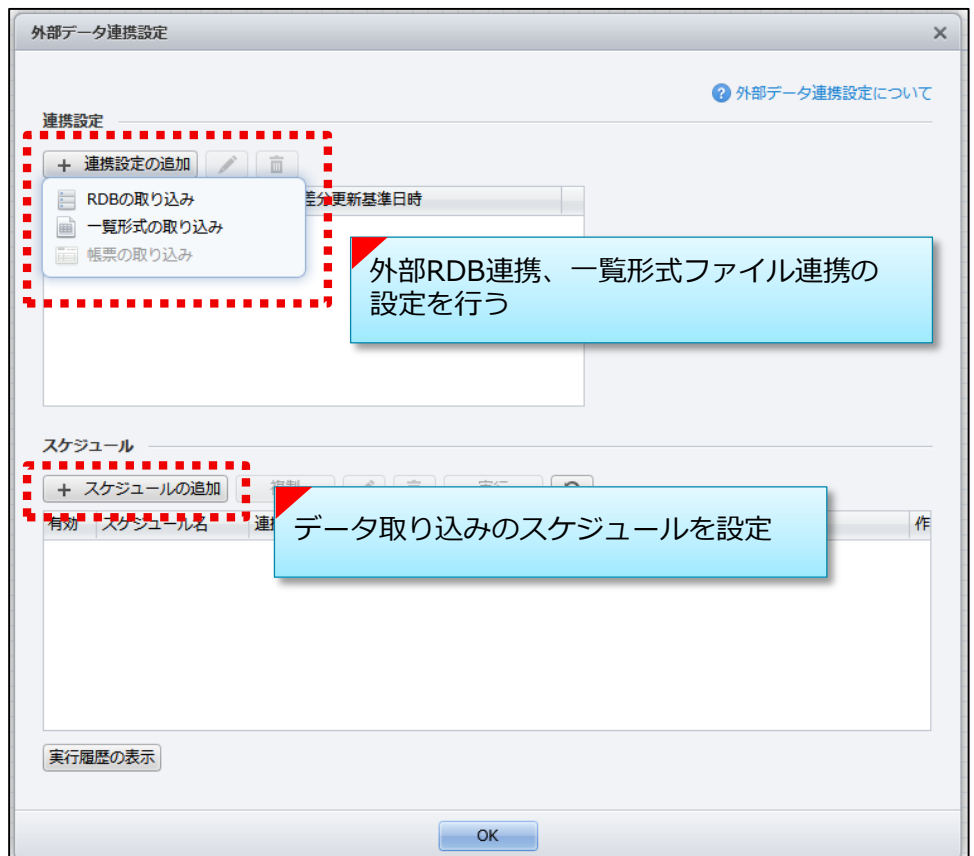
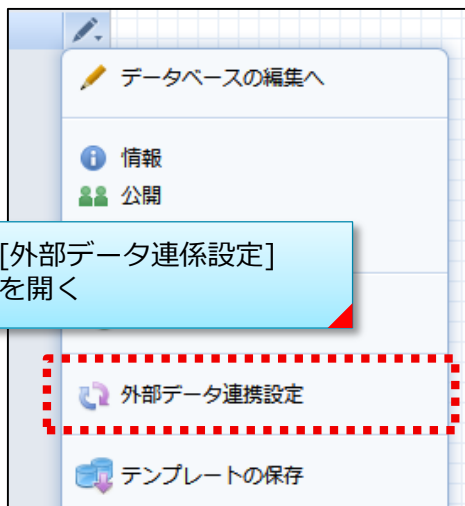
外部RDBのデータ、ファイルサーバー上の一覧形式 (CSV, Excel) ファイル、UnitBaseの帳票ファイルのデータを、指定したスケジュールで自動的に取り込む機能を備えています。

★外部RDBからのデータ取り込みはEnterprise版のみの機能です

以下のような場面で活用いただけます。

- ・ 基幹系システムのデータをUnitBaseに同期し、UnitBase側で必要な情報や機能を補完することで、基幹系システムのサブシステムとして活用する
- ・ UnitBaseで利用するマスターデータ(※)を外部から簡単に取り込み、常に最新のデータにアップデートできる
 ※社員情報、顧客情報、製品情報など、マスターとして一元管理してルックアップして使用するタイプのデータ
- ・ 定期的に一覧形式ファイルで提出されるデータをUnitBaseで自動的に収集し、効率的な情報集約とデータ活用を促進する

外部データ連係の設定は、データベースのメニューから [外部データ連係設定] から行います。



外部データ自動取り込みの設定手順などは多岐に渡るため、詳細はマニュアル「外部データ自動取り込みガイド」を参照してください。

データベース作成の基本

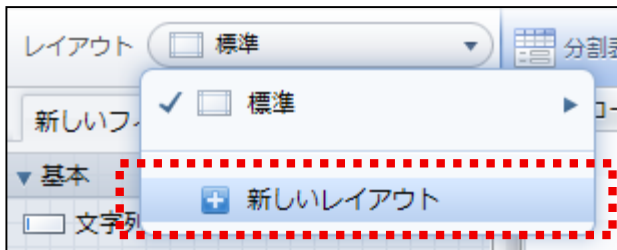
5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ レイアウト

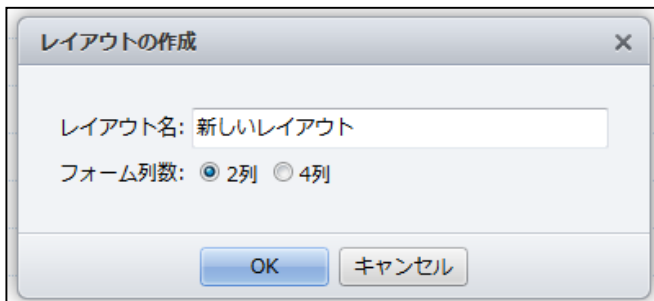
データベースを作成すると、データベースを表示するためのレイアウトが、自動的に1つ作成されます。

最初に自動で作成されたレイアウトを編集したり、新しくレイアウトを定義したりします。

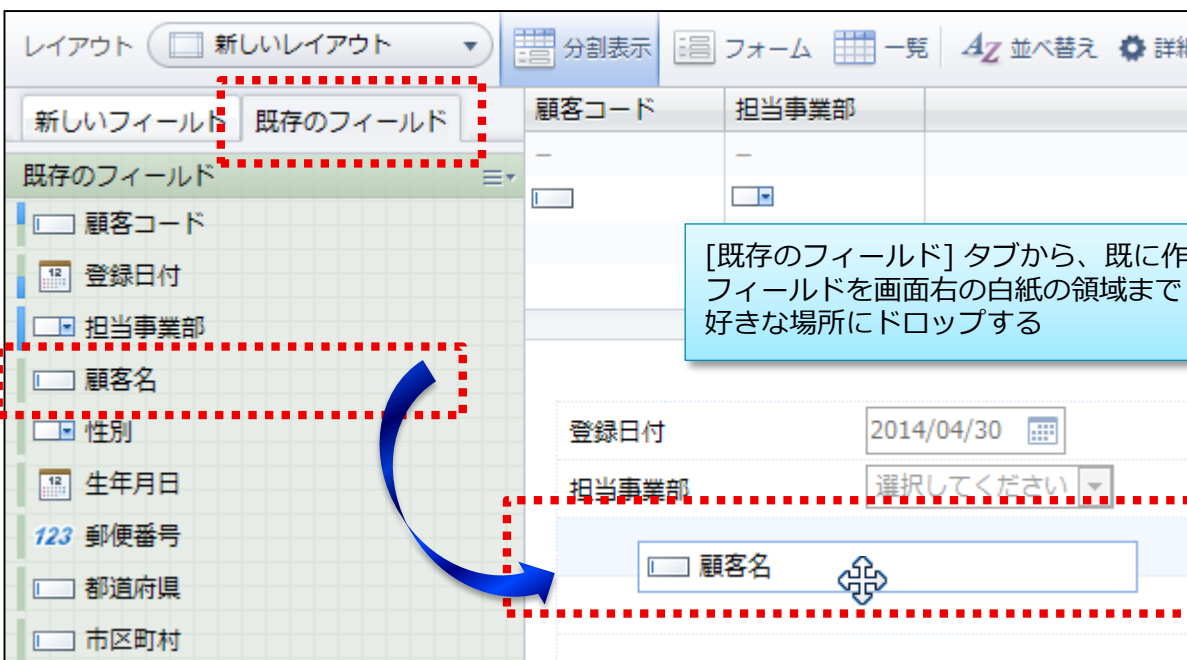
新しいレイアウトを作成する①



データベース編集画面の左上
[レイアウト] メニューから
[新しいレイアウト] を選択



任意のレイアウト名を付け、
2列 / 4列を選択する



[既存のフィールド] タブから、既に作成済みの
フィールドを画面右の白紙の領域までドラッグし
好きな場所にドロップする

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ レイアウト

新しいレイアウトを作成する②



✓ [既存のフィールド] シートの、各フィールド名の左横に表示される棒状のマークで、レイアウト上に配置済みのフィールドを確認できます

-  一覧レイアウトのみに配置
-  フォームレイアウトのみに配置
-  一覧レイアウト・フォームレイアウトの両方に配置
-  一覧レイアウト・フォームレイアウトのどちらにも配置していない

新しいフィールド	既存のフィールド	顧客コード	担当事業部
	既存のフィールド		
☐	顧客コード		
☐	登録日付		
☐	担当事業部		
☐	顧客名		
☐	性別		
☐	生年月日		
☐	郵便番号		

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ レイアウト

既存のレイアウトを変更する①

データベース編集画面からレイアウトを選択し、既存のフィールドをドラッグすることで、配置場所や表示幅などを変更できます。

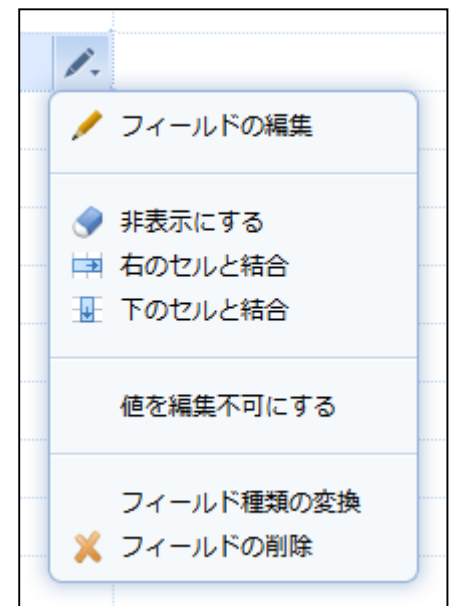
フィールドの名前や入力値の詳細など、フィールドに関する設定はあとから編集することができます。フィールドのメニューから[フィールドの編集]を選択します。

※項目によってはあとから変更できないものもあります。

フォームレイアウトでは、フィールドを表示するセル領域を結合して、左右または上下の領域を広げることができます。フィールドのメニューから[右のセルと結合]や[下のセルと結合]を選択します。

フィールドをレイアウトから非表示にするには、フィールドのメニューから[非表示にする]を選択します。

フィールドを削除するには、フィールドのメニューから[フィールドの削除]を選択します。



- ✓ フィールドを削除するとデータベースから項目が削除され、フィールドを復活させることはできません。
任意のレイアウトで特定のフィールドだけを表示させない場合は[非表示にする]を利用します。登録済みのデータも含めフィールドを完全に削除する場合は[フィールドの削除]を使用します。
- ✓ [数値計算] や [日時計算] の計算対象に指定されているフィールドを削除するとこれらのフィールドが正しく動作しなくなることがあります
- ✓ 別のデータベースのルックアップキー・ルックアップから参照されているフィールドは削除できません
- ✓ 以下の場合は、フィールドを削除できません
 - ・フィールドの表示条件設定で使用されている
 - ・選択肢絞り込み設定で参照されている
 - ・条件付き入力チェックに使用されている

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ レイアウト

既存のレイアウトを変更する②

既存のフィールドの種類を変換することができます。

例えば、[文字列（1行）] で作成したフィールドに実際には数値しか入力しない、といった場合には、そのフィールドを数値フィールドに変換できます。

変換可能なフィールド形式は以下の通りです。

現在のフィールド 種類	新しいフィールド 種類	補足
文字列（1行）	文字列（複数行）	—
文字列（複数行）	文字列（1行）	- 改行は空白に変換されます。 - 最大文字列長が1,000文字の文字列フィールドになります。 1,000文字を超えるデータが既存のレコードに入っている場合は、変換できません。
文字列（1行） 文字列（複数行）	数値	- 全角数字は半角数字に変換されます。 - 小数点以下の桁数が6の数値フィールドになります。 - 数値に変換できない値が含まれている場合は、変換できません。 - 変換後に整数部が9けたを超える数値になる場合は、変換できません。
文字列（1行） 文字列（複数行）	日付	「yyyy-mm-dd」形式および「yyyy/mm/dd」形式の文字列以外は変換されません。
文字列（1行） 文字列（複数行）	時刻	「hh:mm:ss」形式および「hh:mm:ss」形式の文字列以外は変換されません。
文字列（1行） 文字列（複数行）	日付時刻	「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」形式および「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式の文字列以外は変換されません。
文字列（1行） 文字列（複数行）	URL	- 全角文字は半角文字に変換されます。 - URL文字列は、変換先URLのURL部とラベル部になります。
文字列（1行） 文字列（複数行）	メール	全角文字は半角文字に変換されます。
数値	文字列（1行） 文字列（複数行）	数値だけが変換され、単位は変換されません。
日付 時刻 日付時刻	文字列（1行） 文字列（複数行）	元の表示形式によって、「yyyy-mm-dd」・「hh:mm:ss」・「yyyy-mm-dd hh:mm:ss」のどれかの形式に変換されます。
時間量	文字列（1行） 文字列（複数行）	秒単位に変換されます。
自動採番	文字列（1行） 文字列（複数行）	「接頭文字+連番+接尾文字」の文字列に変換されます。
URL	文字列（1行） 文字列（複数行）	- URL部だけが変換されます。 - URL部が1,000文字を超える文字列の場合は、変換できません。 - ラベル部は変換されません。
メール	文字列（1行） 文字列（複数行）	そのまま文字列に変換されます。



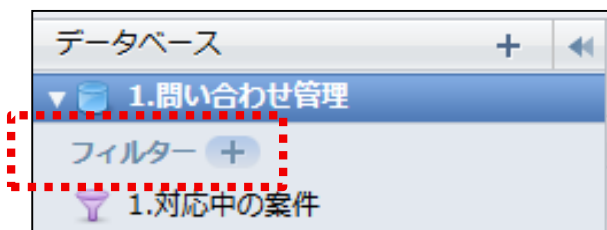
- ✓ 別のデータベースのルックアップキー・ルックアップから参照されているフィールド、フィールドの表示条件設定で使用されているフィールド、条件付き入力チェックに使用されているフィールドは変換できません

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ フィルター

レコードを絞り込む条件と、絞り込んだレコードのソート順、表示するレイアウト、ハイライト、ガイダンスを組み合わせて、フィルターとして保存します。利用者や用途に応じて作成し、フィルターを使い分けることができます。



データベース一覧で、選択しているデータベース名の下に表示される[フィルター]から[+] ボタンをクリック

フィルターに名前を付ける

フィルター名: 動作確認用フィルター 現在の設定を反映 ? フィルターとは?

☐ 絞り込み検索 ☒ 並べ替え ☐ 表示・ハイライト ☐ ガイダンス

☐ フィルター適用時にこの条件の絞り込み検索ダイアログボックスを表示する

次の ☐ & すべての ☐ 条件に当てはまる

☐ ステータス が 対応中 である

※大文字/小文字、半角/全角は区別して検索されます。

[絞り込み検索] シートでレコードの絞り込み条件を設定

最優先するフィールド

回答期限

2番目に優先するフィールド

3番目に優先するフィールド

[並べ替え] シートでレコードのソート条件を設定

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ フィルター

[表示・ハイライト] シートで
強調表示条件などを設定

表示するレイアウトを選択

表示・ハイライト

ガイダンス

レイアウト: 1. 標準

グループ表示: 商品大分類

グループ化して表示する
レコードを選択

ハイライト

sample ☐ 問い合わせ分類 が クレーム である + -

sample ☐ 回答期限 が 日付指定 2016/10/05 以前 + -

sample ☐ 日付指定 2016/10/08 以前 + -

レコードをハイライト表示
する条件を設定

※大文字/小文字、半角/全角は区別して検索されます。

作成したフィルターを選択した状態

・[ステータス] が「対応中」で絞込
・グループ内で回答期限の昇順でソート

データベース

+

1.問い合わせ管理

フィルター +

1.対応中の案件

2.対応済の案件

3.カレンダー表示

4.新レイアウト

5.基本情報の編集不可

フィルターを選択

8.案件を検索する

動作確認用フィルター

クロス集計 +

商品別/問い合わせ分類

担当別

1-9/9件

問い合わせ	受付日付	回答期限	担当者	ステータス	顧客会社名	問い合わせ分	タイトル
デスクトップパソコン							
☐	Q00002	2016/10/02	2016/10/07	二宮将太	対応中	金融B社	不具合
周辺機器							
☐	Q00004	2016/10/01	2016/10/05	中岡麻由子	対応中	保険D社	質問
☐	Q00005	2016/10/02	2016/10/06	井上悠	対応中	保険E社	質問
☐	Q00010	2016/10/02	2016/10/07	井上悠	対応中	金融B社	不具合
☐	Q00008	2016/10/05	2016/10/09	中岡麻由子	対応中	教育I社	質問
液晶ディスプレイ							
☐	Q00003	2016/10/01	2016/10/05	井上悠	対応中	食品C社	クレーム
☐	Q00011	2016/10/03	2016/10/06	二宮将太	対応中	電機L社	クレーム
☐	Q00007	2016/10/04	2016/10/11	井上悠	対応中	製造A社	クレーム
☐	Q00006	2016/10/05	2016/10/13	二宮将太	対応中	サービスF社	不具合

商品分類1

別にグループ化

フィルターを選択

[商品分類] 別にグループ化

[問い合わせ分類] を
ハイライトで色分け

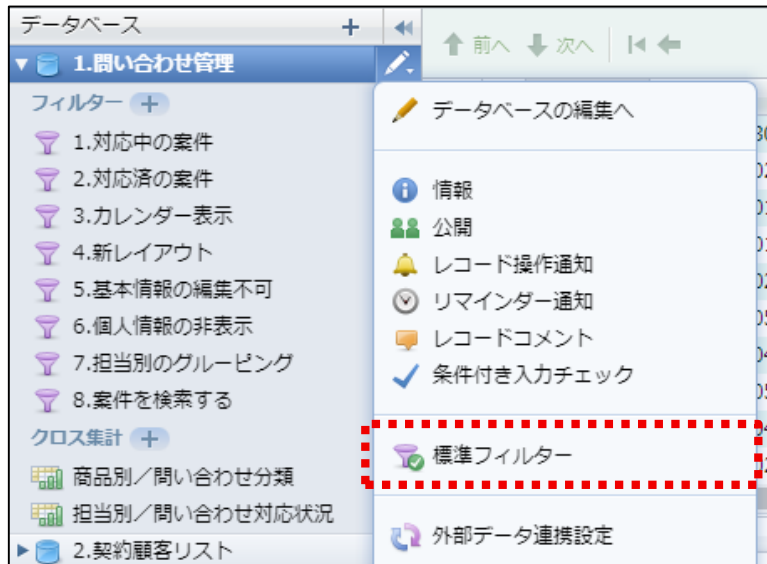
データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ フィルター



- ✓ データベースを表示した時に特定のフィルターを自動的に適用することができます。
データベースの設定メニューから [標準フィルターにする] を選択して設定します。



標準フィルター設定

※上から順にログインユーザーが該当するかチェックし、最初に該当したフィルターを標準フィルターとして使用します。

フィルター	グループ/ユーザー			
1. 対応中の案件	サンプルグループ サポート部 窓口担当	選択	+	-
7. 担当別のグルーピング	サンプルグループ サポート部 窓口マネージャー	選択	+	-
6. 個人情報の非表示	サンプルグループ マーケティング部	選択	+	-

グループ/ユーザー単位で自動的に適用する
フィルターを設定

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ フィルター



- ✓ フィルターを選択したとき、フィルターに設定された絞り込み条件を反映した [絞り込み検索] ダイアログボックスを表示できます。標準フィルターと組み合わせることで、データベースを選択した時に [絞り込み検索] ダイアログを表示させ、検索を行わせる業務アプリケーションが構築できます。
[フィルター適用時にこの条件の絞り込み検索ダイアログボックスを表示する] をオンにして設定します。

絞り込み検索 並べ替え 表示・ハイライト ガイダンス

☒ フィルター適用時にこの条件の絞り込み検索ダイアログボックスを表示する

次の & すべての 条件に当てはまる

12 受付日付 が [] ~ [] の範囲内 + -

担当者 が [] である + -

絞り込み検索

次の & すべての 条件に当てはまる ? 絞り込み検索とは?

12 受付日付 が [] ~ [] の範囲内 + -

担当者 が [] である + -

ステータス が 選択してください + -

顧客会社名 が [] + -

問い合わせ分類 が 選択してください + -

タイトル が Aa [] + -

※大文字／小文字、半角／全角は区別して検索されます。

検索 キャンセル + この条件を保存

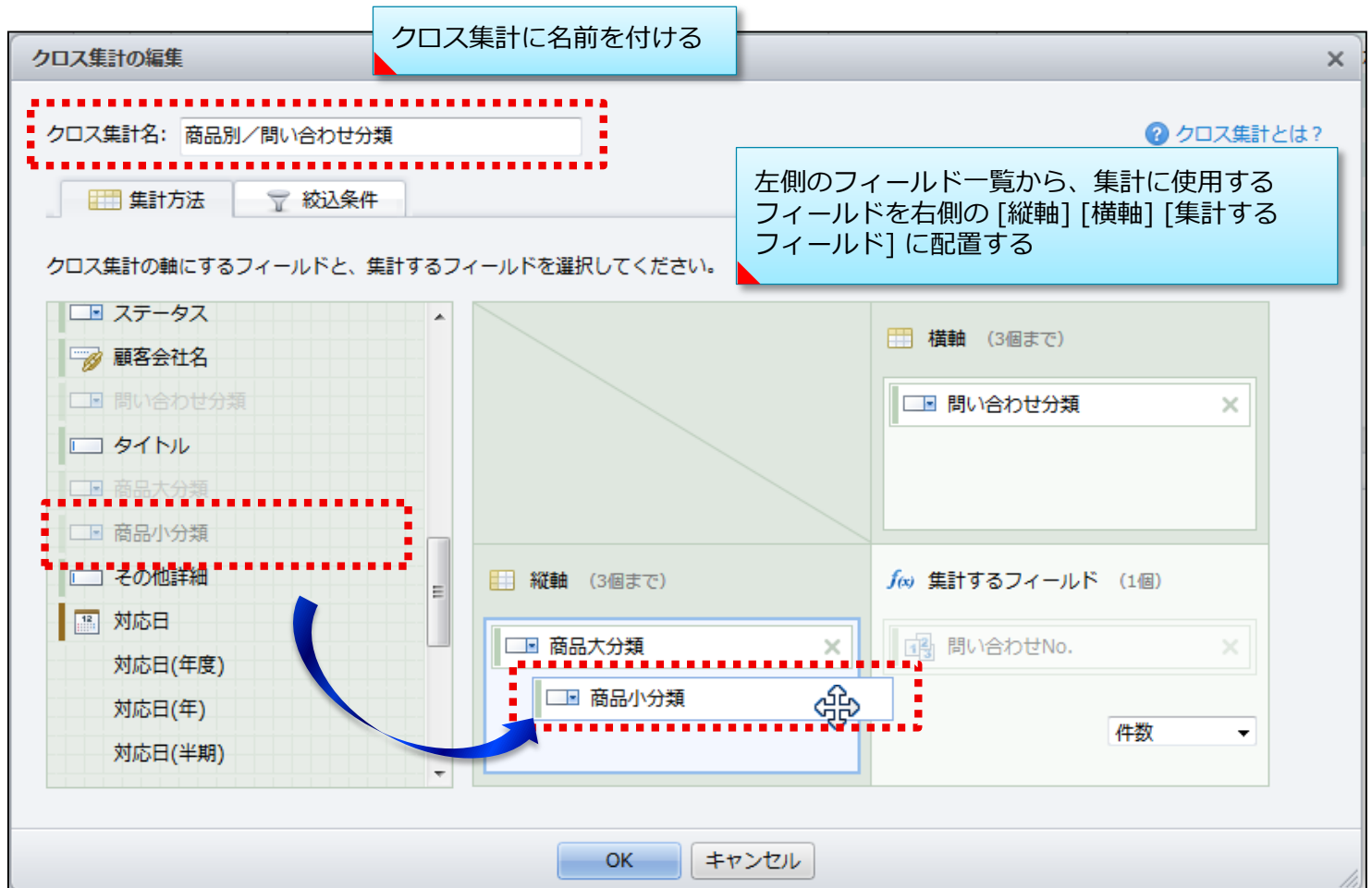
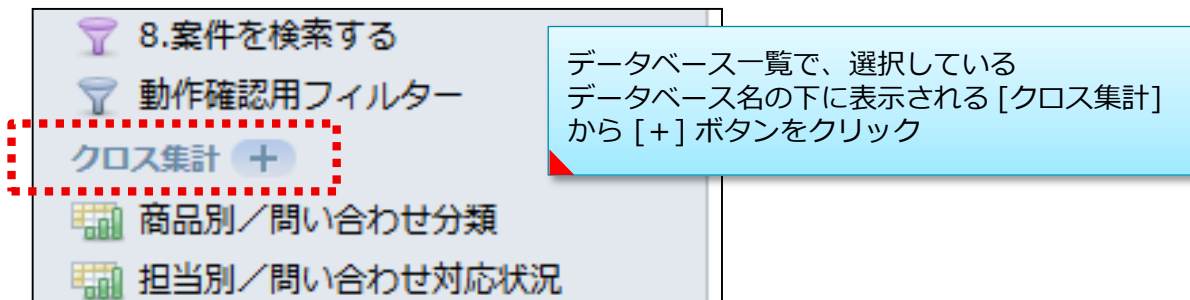
フィルターを選択すると絞り込み検索ダイアログが表示される

データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ クロス集計

選択したデータベースを、クロス集計で集計します。
集計の対象にするフィールドをいろいろ組み合わせることで、1つのデータを、いろいろな角度で集計して分析することができます。



データベース作成の基本

5. レイアウト・フィルター・クロス集計を設定する

□ クロス集計

作成したクロス集計を選択した状態

クロス集計

データベース

1.問い合わせ管理

フィルター

- 1.対応中の案件
- 2.対応済の案件
- 3.カレンダー表示
- 4.新レイアウト
- 5.基本情報の編集不可
- 6.個人情報の非表示
- 7.担当別のグルーピング
- 8.案件を検索する
- 動作確認用フィルター

クロス集計

商品別／問い合わせ分類

	クレーム	不具合	質問	総数
デスクトップパソコン	1	2		3
周辺機器		1	3	4
液晶ディスプレイ	3	1		4
総数	4	4	3	11

グラフ表示への切り替え

クロス集計を選択し [グラフ] クリック

クロス集計

編集

グラフ

グラフ

縦棒

横棒

折れ線

縦積み

横積み

軸の切替

目盛り設定

文字設定

グラフ表示に切り替わる

商品別／問い合わせ分類

商品	クレーム	不具合	質問
デスクトップパソコン	1	2	
周辺機器		1	3
液晶ディスプレイ	3	1	

データベース作成の基本

6. 帳票を設定する

レコードの内容をExcelファイルに書き込んで、体裁の整った帳票ファイルを作成できます。

出力先のExcelファイルの雛形として、あらかじめ帳票出力テンプレートを用意してデータベースに登録しておく必要があります。

既にExcelファイルで帳票を作成・運用している場合は、そのファイルを流用して、同じレイアウト・フォーマット・機能を持つ帳票を出力できます。

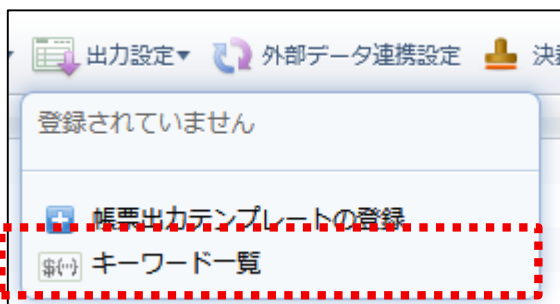
なお、ここでは帳票の出力についてのみ説明し、帳票からのデータ取込は「実践的な使い方」で改めてご説明します。

□ 帳票出力テンプレートの作成

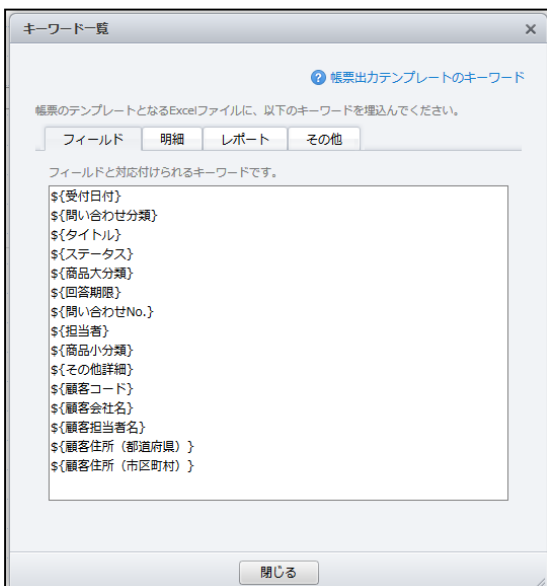
帳票出力テンプレートとして、Excelで通常と同じように帳票を作成し、UnitBaseからフィールドのデータを出力するセルに「キーワード」を記入したExcelファイルを用意します。

「キーワード」とは、フィールドデータや決裁情報の出力先セルを決定するために使用する文字列データです。帳票出力テンプレートを登録するときに、キーワードとフィールドを関連付けて、データの出力先セルを指定します。

帳票出力テンプレートで利用可能なキーワードの一覧は、データベース編集画面の [出力設定] メニューから [キーワード一覧] で参照できます。



データベース編集画面の [出力設定] メニューから [キーワード一覧] を選択



利用可能なキーワードの一覧が表示される

データベース作成の基本

6. 帳票を設定する

□ 帳票出力テンプレートの作成

キーワード一覧

帳票出力テンプレートのキーワード

帳票のテンプレートとなるExcelファイルに、以下のキーワードを埋込んでください。

フィールド 明細 レポート その他

フィールドと対応付けられるキーワードです。

- #{受付日付}
- #{問い合わせ分類}
- #{タイトル}
- #{ステータス}
- #{商品大分類}
- #{回答期限}
- #{問い合わせNo.}
- #{担当者}
- #{商品小分類}
- #{その他詳細}
- #{顧客コード}
- #{顧客会社名}
- #{顧客担当者名}
- #{顧客住所（都道府県）}
- #{顧客住所（市区町村）}

キーワード一覧に表示されている
#{フィールド名} などの文字列を
帳票出力テンプレートのExcelファイルに
埋め込んでいく

(実施様式 1)

問い合わせ対応報告書

		対応者	
		#{担当者名}	
問合せNo.	商品	タイトル	
#{問い合わせNo.}	#{商品}	#{タイトル}	
受付日付	分類	回答期限	ステータス
#{受付日付}	#{分類}	#{回答期限}	#{ステータス}
お客様	会社名	顧客コード	住所
	#{顧客会社名}	{顧客コード所(県名)}	#{住所(市区町
対応日	問合せ内容	回答	
#{#明細開始#}			
#{対応日}	#{問い合わせ内容}	#{回答}	
		#{#明細終了#}	
備考			

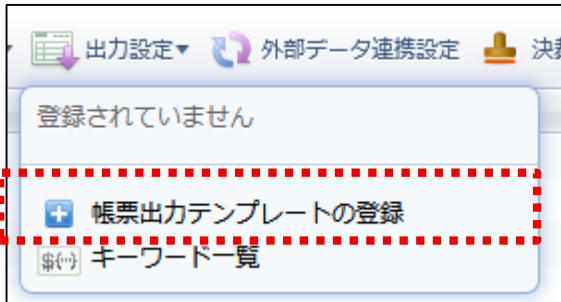
帳票出力テンプレートの書式などの詳細は多岐に渡るため、本セミナーでは割愛します。
詳細についてはUnitBaseヘルプの「11. 付録」>「帳票出力テンプレートファイルについて」
の項目、ならびにマニュアル「帳票活用ガイド」をご確認ください。

データベース作成の基本

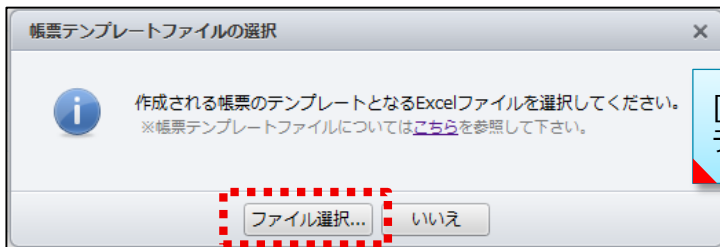
6. 帳票を設定する

□ 帳票出力テンプレートの登録

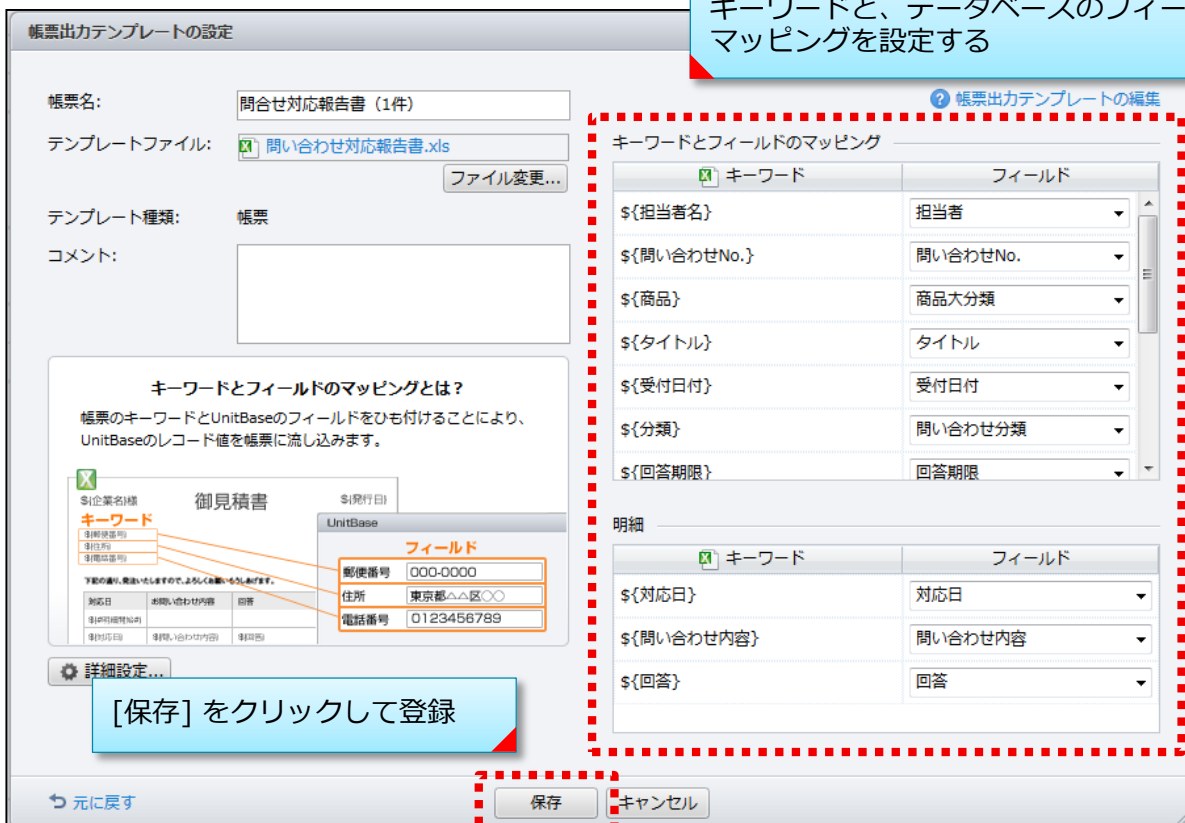
作成した帳票出力テンプレートのExcelファイルをデータベースに登録します。



データベース編集画面の [出力設定] メニューから [帳票出力テンプレートの登録] を選択



[ファイル選択] ボタンをクリックしてテンプレートのExcelファイルを選択



データベース作成の基本

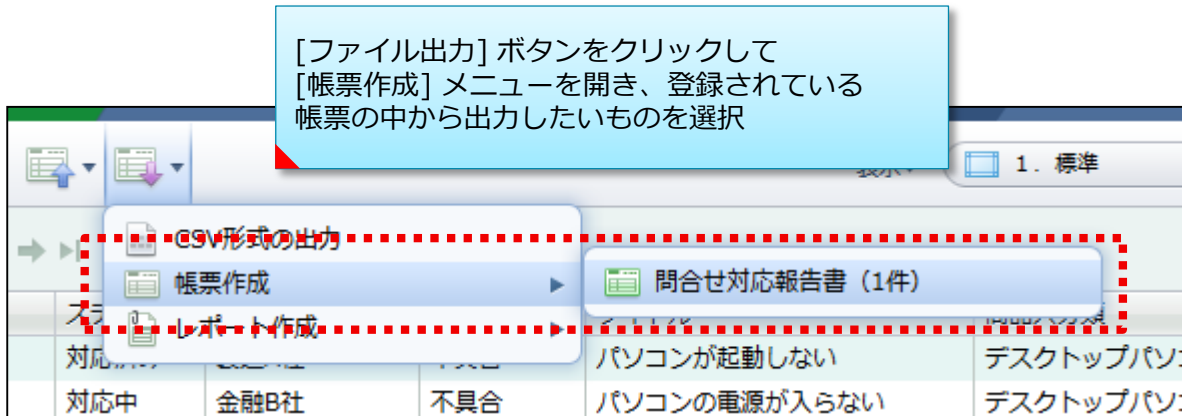
6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力

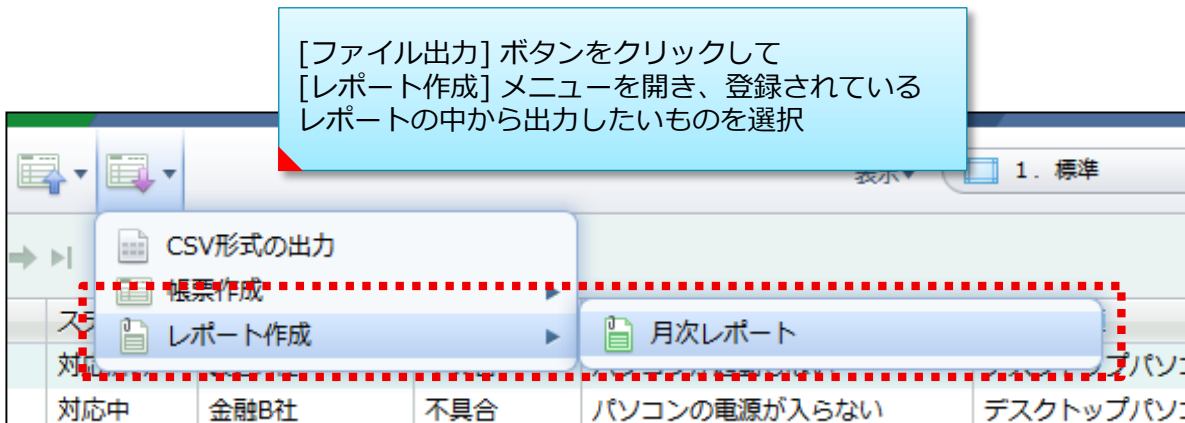
帳票ファイルには、レコード単位で帳票を作成する「帳票作成」と、複数のレコードから帳票を作成する「レポート作成」があります。

いずれの形式も、帳票ファイルの出力はデータベース参照画面の「ファイル出力」メニューから行います。

帳票作成



レポート作成



ここでは例として、UnitBaseに付属するサンプルの「サポート部」フォルダー ＞ 「1.問い合わせ管理」データベースでの出力例を見てみます。

データベース作成の基本

6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力例 ①：帳票作成

1つのレコードのデータを1つの帳票出力テンプレートに出力します。
前ページの出力例のように、選択したレコードの内容が1つの帳票ファイルに埋め込まれて出力されます。
1つのExcelファイルに複数の帳票出力テンプレートとなるシートがある場合、それぞれのシートにデータを出力し、1ファイルで複数の帳票を作成できます。

帳票出力テンプレートファイル

(実施様式 1)			問い合わせ		レコードの登録内容	
問い合わせNo.	Q00001		問い合わせNo.	Q00001	回答期限	2016/10/03
受付日付	2016/09/30		受付日付	2016/09/30		
タイトル	パソコンが起動しない		タイトル	パソコンが起動しない		
問い合わせ分類	不具合		問い合わせ分類	不具合	商品情報	
担当者	井上悠		担当者	井上悠	商品大分類	デスクトップパソコン
					商品小分類	デスクトップパソコンA
顧客コード	C00001		顧客コード	C00001	顧客住所 (都道府県)	山形県
顧客会社名	製造A社		顧客会社名	製造A社	顧客住所 (市区町村)	最上郡大蔵村
顧客担当者名	高橋舞子		顧客担当者名	高橋舞子		
対応日	問い合わせ内容		対応日	問い合わせ内容	回答	
2016/09/30	パソコンの電源をONにしたが、起動しないとのこと。		2016/09/30	パソコンの電源をONにしたが、起動しないとのこと。	電源ケーブルの接続を確認。 また、前回終了前の状態がどうだったかヒアリング。	
2016/09/30	電源ケーブルが断線していた。 代替品を購入したいがどうすればいいか？		2016/09/30	電源ケーブルが断線していた。 代替品を購入したいがどうすればいいか？	オンラインショップのURLを案内。	
2016/10/01	無事、購入できた。		2016/10/01	無事、購入できた。	対応終了。	

出力した帳票ファイル

(実施様式 1)			問い合わせ対応報告書		対応者	
問い合わせNo.	商品	タイトル	問い合わせNo.	商品	タイトル	対応者
Q00001	デスクトップパソコン	パソコンが起動しない	問い合わせNo.	商品	タイトル	井上悠
受付日付	分類	回答期限	受付日付	分類	回答期限	
2016/9/30	不具合	2016/10/3	2016/9/30	不具合	2016/10/3	対応済み
お客	会社名	顧客コード	お客	会社名	顧客コード	
様	製造A社	高橋舞子	様	製造A社	高橋舞子	
		住所			住所	
		電話			電話	
対応日	問い合わせ内容	回答	対応日	問い合わせ内容	回答	
2016/9/30	パソコンの電源をONにしたが、起動しないとのこと。	電源ケーブルの接続を確認。 また、前回終了前の状態がどうだったかヒアリング。	2016/9/30	パソコンの電源をONにしたが、起動しないとのこと。	電源ケーブルの接続を確認。 また、前回終了前の状態がどうだったかヒアリング。	
2016/9/30	電源ケーブルが断線していた。 代替品を購入したいがどうすればいいか？	オンラインショップのURLを案内。	2016/9/30	電源ケーブルが断線していた。 代替品を購入したいがどうすればいいか？	オンラインショップのURLを案内。	
2016/10/1	無事、購入できた。	対応終了。	2016/10/1	無事、購入できた。	対応終了。	

キーワードを記入したセルに自動的にレコードの内容が埋め込まれて帳票ファイルが出力されます

データベース作成の基本

6. 帳票を設定する

□ 帳票ファイルの出力例 ② : レポート作成

複数のレコードのデータを1つの帳票出力テンプレートに一覧として出力します。
レポートの場合は、帳票出力テンプレートファイルの1シートだけにデータを出力できます。

帳票出力テンプレートファイル

問い合わせ対応詳細

作成日: \${%帳票作成日時%}

問い合わせ一覧

No.	受付日	問い合わせ元	ステータス	分類	タイトル	商品分類	担当者	回答期限	問い合わせNo.
No. 1									
No. 2									
No. 3									
No. 4									
No. 5									
No. 6									
No. 7									
No. 8									
No. 9									
No. 10									
No. 11									
No. 12									
No. 13									
No. 14									
No. 15									
No. 16									
No. 17									
No. 18									
No. 19									
No. 20									
No. 21									
No. 22									
No. 23									
No. 24									
No. 25									
No. 26									
No. 27									
No. 28									
No. 29									
No. 30									
No. 31									
No. 32									
No. 33									
No. 34									
No. 35									
No. 36									
No. 37									
No. 38									
No. 39									
No. 40									
No. 41									
No. 42									
No. 43									
No. 44									
No. 45									
No. 46									
No. 47									
No. 48									
No. 49									
No. 50									
No. 51									
No. 52									
No. 53									
No. 54									
No. 55									
No. 56									
No. 57									
No. 58									
No. 59									
No. 60									
No. 61									
No. 62									
No. 63									
No. 64									
No. 65									
No. 66									
No. 67									
No. 68									
No. 69									
No. 70									
No. 71									
No. 72									
No. 73									
No. 74									
No. 75									
No. 76									
No. 77									
No. 78									
No. 79									
No. 80									
No. 81									
No. 82									
No. 83									
No. 84									
No. 85									
No. 86									
No. 87									
No. 88									
No. 89									
No. 90									
No. 91									
No. 92									
No. 93									
No. 94									
No. 95									
No. 96									
No. 97									
No. 98									
No. 99									
No. 100									

レコードの一覧

No.	問い合わせ	受付日付	回答期限	担当者	ステータス	顧客会社名	問い合わせ内容	タイトル	商品大分類	商品小分類
1	Q00001	2016/09/30	2016/10/03	井上悠	対応済み	製造A社	不具合	パソコンが起動しない	デスクトップパソコン	デスクトップパソコン
2	Q00002	2016/10/02	2016/10/07	二宮将太	対応中	金融B社	不具合	パソコンの電源が入らない	デスクトップパソコン	デスクトップパソコン
3	Q00003	2016/10/01	2016/10/05	井上悠	対応中	食品C社	クレーム	液晶が割れていた	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ
4	Q00004	2016/10/01	2016/10/05	中岡麻由子	対応中	保険D社	質問	USBキーボードを認識しない	周辺機器	周辺機器

出力した帳票ファイル

問い合わせ対応詳細

問い合わせ一覧

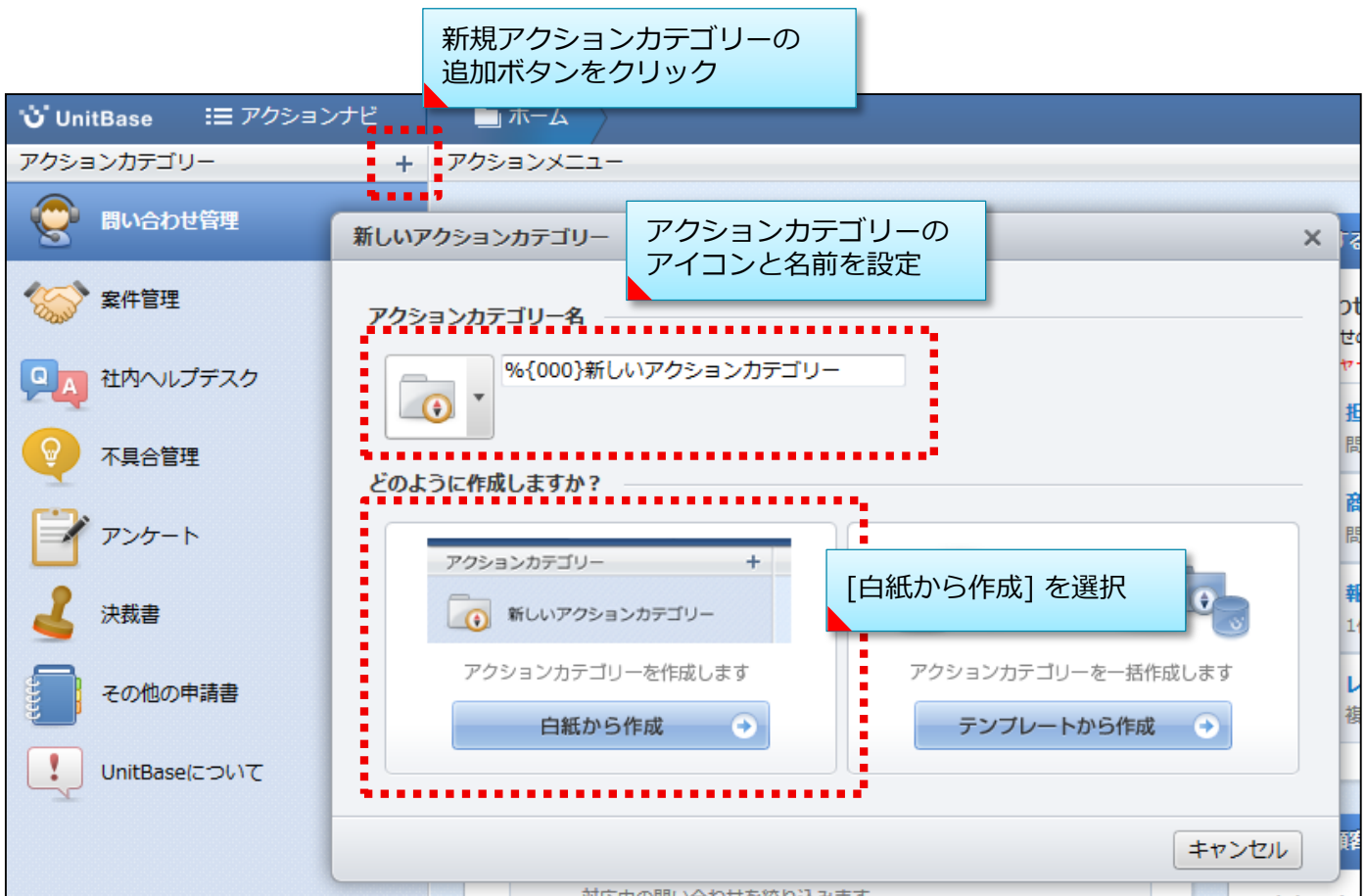
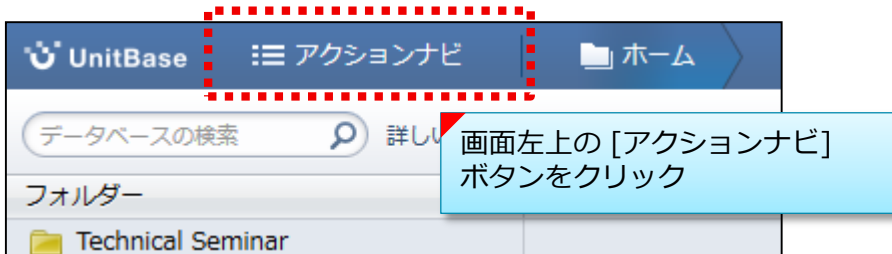
No.	受付日	問い合わせ元	ステータス	分類	タイトル	商品分類	担当者	回答期限	問い合わせNo.
1	2016/9/30	製造A社	対応済み	不具合	パソコンが起動しない	デスクトップパソコン	井上悠	2016/10/3	Q00001
2	2016/10/2	金融B社	対応中	不具合	パソコンの電源が入らない	デスクトップパソコン	二宮将太	2016/10/7	Q00002
3	2016/10/1	食品C社	対応中	クレーム	液晶が割れていた	液晶ディスプレイ	井上悠	2016/10/5	Q00003
4	2016/10/1	保険D社	対応中	質問	USBキーボードを認識しない	周辺機器	中岡麻由子	2016/10/5	Q00004
5	2016/10/2	保険E社	対応中	質問	USB2.0に対応しているか?	周辺機器	井上悠	2016/10/6	Q00005
6	2016/10/5	サービスF社	対応中	不具合	可動部から異音が出る	液晶ディスプレイ	二宮将太	2016/10/13	Q00006
7	2016/10/4	製造A社	対応中	クレーム	液晶にドット抜けがある	液晶ディスプレイ	井上悠	2016/10/11	Q00007
8	2016/10/5	教育I社	対応中	質問	コードに傷がついた	周辺機器	中岡麻由子	2016/10/9	Q00008
9	2016/10/4	通信J社	対応済み	クレーム	ファンの音がうるさい	デスクトップパソコン	二宮将太	2016/10/5	Q00009
10	2016/10/2	金融B社	対応中	不具合	マウスが動かなくなった	周辺機器	井上悠	2016/10/7	Q00010
11	2016/10/3	電機L社	対応中	クレーム	液晶ディスプレイに青い点がある	液晶ディスプレイ	二宮将太	2016/10/6	Q00011

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

クイックアクションナビの機能を使い、業務に直結した分かりやすい名前の付いたメニューを設ける、よく利用する機能にダイレクトにアクセスできるようにするなど、画面を整備することでより使いやすい業務システムをユーザーに提供することができます。

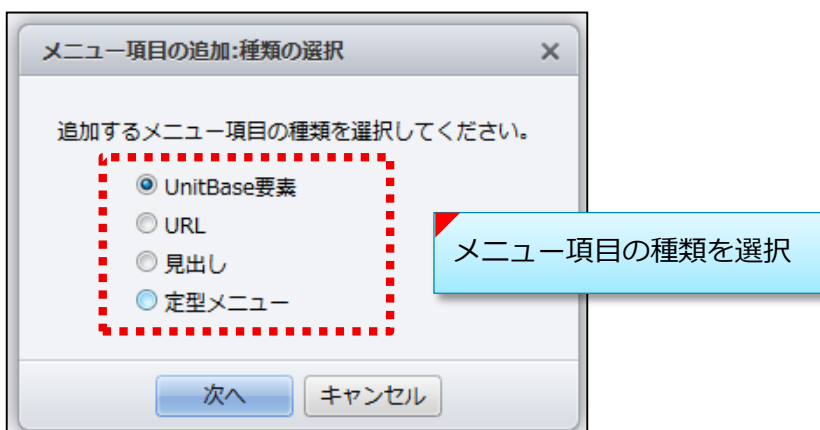
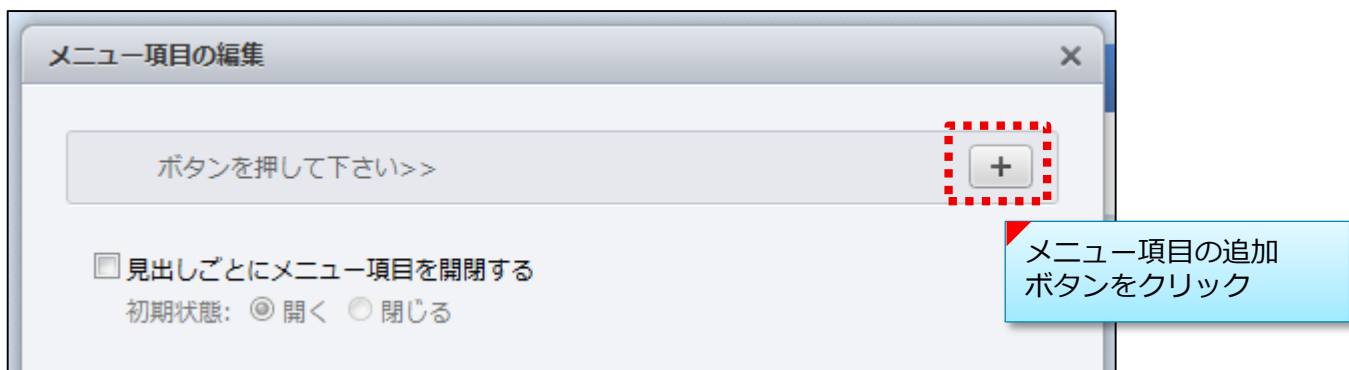
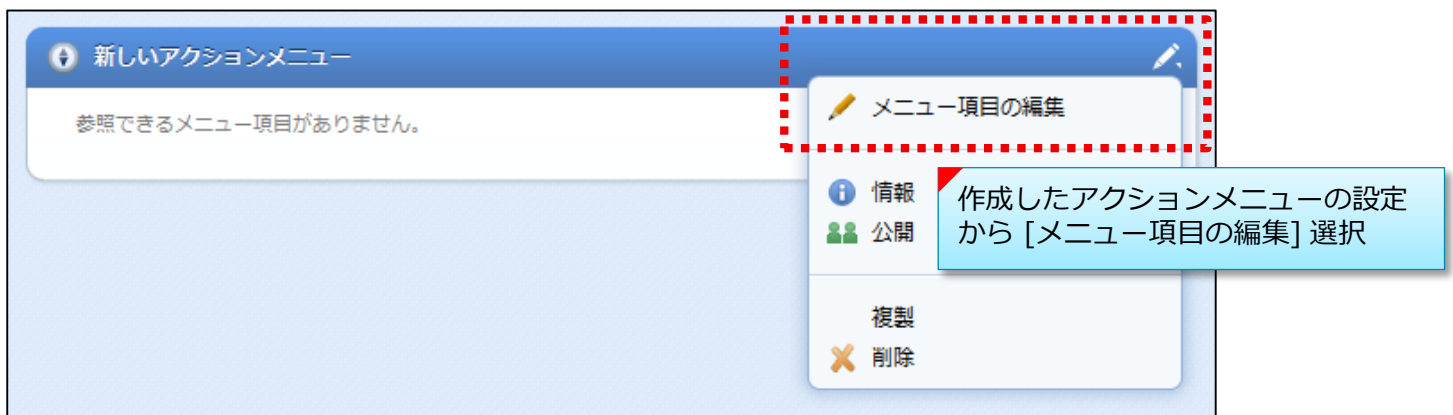
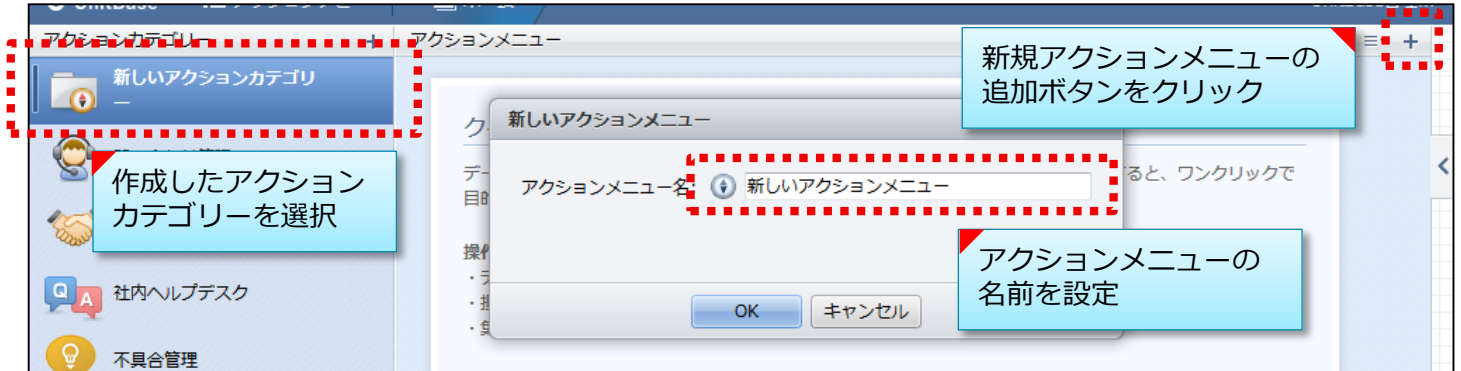
□ アクションカテゴリーの作成



データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

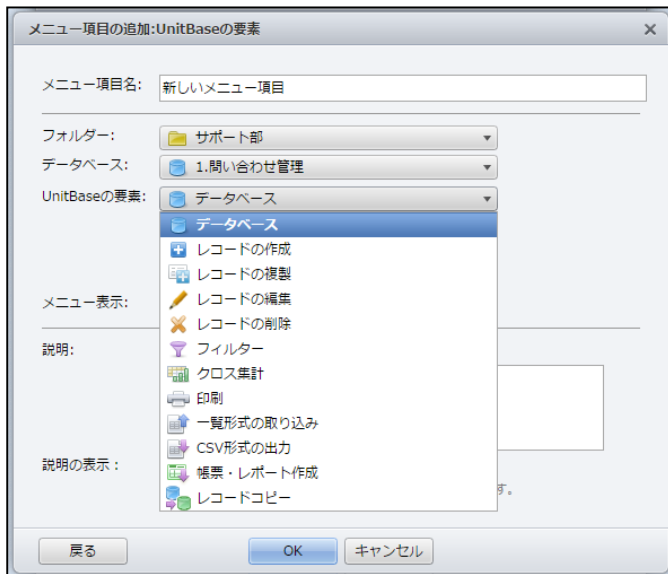


データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

UnitBase要素



■メニュー項目名

メニューの項目名を設定します。

■フォルダー

データベースが格納されているフォルダーを選択します。

■データベース

使用するデータベースを選択します。

■UnitBaseの要素

メニュー項目に設定する要素を選択します。

※使用するデータベースが通常のデータベースか決裁データベースか、データベースに帳票が設定されているかどうか、等によって表示される要素が変わります。

・データベース

データベース閲覧画面を表示します。

※指定したデータベースに応じて、[決裁データベース]・[標準フィルター付きデータベース]になります。

・レコードの作成

選択されているデータベースの[新規レコード作成]ダイアログボックスを表示します。

・レコードの複製

選択されているデータベースで、選択されたレコードが反映された[新規レコード作成]ダイアログボックスを表示します。

[新規レコード作成]ダイアログボックスでレコードを編集し、保存します。

・レコードの編集

選択されているデータベースで、選択されたレコードの[レコードの編集]ダイアログボックスを表示します。

・レコードの削除

選択されているデータベースで、選択されたレコードを削除します。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

UnitBase要素

■ UnitBaseの要素（続き）

- ・ フィルター
データベース閲覧画面に切り替えて、設定したフィルターを実行した状態にします。
適用するフィルター名も設定します。
- ・ クロス集計
設定されているクロス集計を表示します。表示するクロス集計名も設定します。
- ・ 印刷
選択されたデータベースで、印刷を実行します。[一覧] または [ビューアー] を
選択します。
- ・ 一覧形式の取り込み
ファイルからレコードを取り込むための [一覧形式の取り込み] ダイアログボックスを
表示します。
- ・ 帳票の取り込み
帳票からレコードを取り込むための [帳票の取り込み] ダイアログボックスを表示します。
- ・ 帳票取込テンプレートの情報ダイアログ
帳票取込テンプレートのダウンロードに使用する、[帳票取込テンプレートの情報]
ダイアログボックスを表示します。
- ・ メールテンプレートの情報ダイアログ
メールテンプレート用のEMLファイルやメールに添付する帳票用の帳票取込テンプレートの
ダウンロードに使用する [メールテンプレートの情報] ダイアログボックスを表示します。
- ・ CSV形式の出力
選択されたレコードをCSV形式のファイルへ出力します。
- ・ 帳票・レポート作成
選択されたレコードを帳票やレポート形式で出力します。
- ・ 決裁の実行
選択されたレコードの決裁処理を実行します。
- ・ レコードコピー
選択されたレコードを、別のデータベースへコピーします。
※レコードコピーのメニュー項目を設定できるのは、コピー元データベースの所有者、
コピー元データベースのフォルダーの所有者と管理者です。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

UnitBase要素

■レコード一覧を表示せずに実行

チェックをオンにするとレコード一覧を更新せずにメニュー項目を実行できます。

クイックアクションナビ画面から実行する場合は、データベース閲覧画面に移動せずに操作を実行できます。

以下のUnitBaseの要素を選択した場合に表示されます。

- ・レコードの作成
- ・印刷
- ・一覧形式の取り込み
- ・帳票の取り込み
- ・CSV形式の出力
- ・帳票・レポート作成

■メニュー表示

メニュー項目を画面内に表示するかしないかを設定します。

[ホーム画面] をオンにすると、クイックアクションナビ画面内にメニュー項目が表示されます。オフにすると、クイックアクションナビ画面では表示されません。

[データベース閲覧画面] をオンにすると、アクションナビペイン内にメニュー項目が表示されます。オフにすると、アクションナビペインでは表示されません。

■説明

メニューの説明を、全角・半角を問わず500文字以内で入力します。

通常形式またはリッチテキスト形式を選択できます。

※リッチテキスト形式の場合は、書式データが含まれるため、入力できるメッセージが500文字より少なくなることがあります。

■説明の表示

メニューの説明を画面内にも表示するかしないかを設定します。

[ホーム画面] をオンにすると、クイックアクションナビ画面内にもメニューの説明が表示されます。オフにすると、クイックアクションナビ画面では、ツールチップだけにメニューの説明が表示されます。

[データベース閲覧画面] をオンにすると、アクションナビペイン内にもメニューの説明が表示されます。オフにすると、アクションナビペインでは、ツールチップだけにメニューの説明が表示されます。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

URL

■メニュー項目名

メニューの項目名を設定します。

■URL

クリックしたときに表示するWebページのURLを設定します。

見出し

■見出し

メニュー項目を見やすくするための見出しを入力します。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ アクションメニューの作成

定型メニュー



■ フォルダ

定型メニューを設定するデータベースが格納されているフォルダを選択します。

■ データベース

定型メニューを設定する使用するデータベースを選択します。

■ 定型メニュー

設定する定型メニューを選択します。

[定型メニュー] を選択すると、データベースに対する典型的なメニュー項目の組み合わせを一気に作成できます。

定型メニューでは、以下の項目を設定できます。

- ・ レコードの閲覧/作成/複製/編集/削除
レコードの閲覧、レコードの作成、レコードの複製、レコードの編集、レコードの削除
- ・ 決裁の申請
決裁の作成、決裁の編集、自分が申請した決裁を確認、自分が代理申請した決裁を確認、
- ・ 決裁処理
決裁する、決裁の編集、代理決裁する
- ・ 公開フィルターを追加
ログインユーザーに参照権がある公開済みの全フィルターがメニューとして表示されます
- ・ 公開クロス集計を追加
ログインユーザーに参照権がある公開済みの全クロス集計がメニューとして表示されます

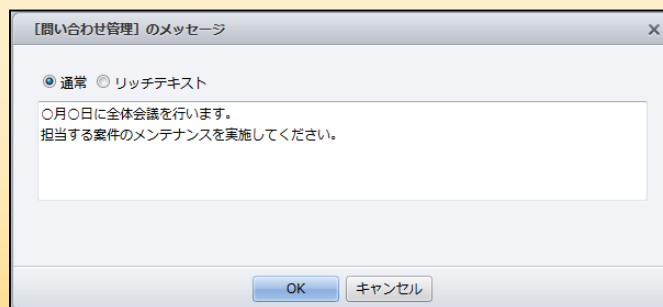
データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

クイックアクションナビの作成例



- ✓ アクションカテゴリー選択時に表示するメッセージを設定できます。アクションメニュー右上の  ボタンをクリックし、メニューから [メッセージ編集] を選択してメッセージを入力します。



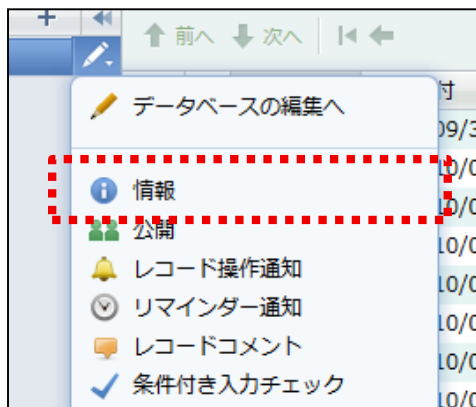
- ✓ アクションメニュー一覧に表示するメニューに対して、横に並べる個数や表示幅を設定できます。アクションメニュー右上の  ボタンをクリックし、メニューから [アクションメニュー表示設定] を選択して列数や幅を設定します。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ 既定のアクションカテゴリーの設定

選択したデータベースで、データベース一覧表示からアクションナビ表示に切り替えた際に既定で適用するアクションカテゴリーを指定できます。



データベースのメニューから
[情報] をクリック



[既定のアクションカテゴリー] で
適用するアクションカテゴリーを設定

[既定のアクションカテゴリー] で適用するアクションカテゴリーを設定した場合は、[初期表示] でデータベース閲覧画面の左側の初期表示をデータベース一覧にするかアクションナビ表示にするか選択できます。

既定のアクションカテゴリーを使用しない場合は [指定なし] のままにします。

データベース作成の基本

7. クイックアクションナビを設定する

□ 既定のアクションカテゴリーの設定

データベース一覧表示とアクションナビ表示を切り替えるには、一覧の下部にある切替ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'データベース' (Database) interface. On the left, there's a sidebar with a list of filters and a 'アクションナビに切替' button highlighted with a red dashed box. A blue arrow points from this button to the 'アクションナビ' (Action Navigation) view. The 'アクションナビ' view shows a list of inquiries with columns: 問い合わせ, 受付日付, 回答期限, 担当者, ステータス, 顧客会社名, 問い合わせ分. Below the list, there's a detailed view of a specific inquiry (Q00001) with fields like 問い合わせNo., 受付日付, 回答期限, タイトル, 問い合わせ分類, ステータス, and 商品大分類.

切替クリックのたびにデータベース一覧とアクションナビに表示が切り替わる

既定のアクションカテゴリーが設定されていないデータベースでは、[アクションナビに切替] ボタンをクリックするとアクションカテゴリーを選択するように促されます。

The screenshot shows the 'データベース' (Database) interface. On the left, there's a sidebar with a list of filters and a 'アクションナビに切替' button highlighted with a red dashed box. A blue arrow points from this button to the 'アクションナビ' (Action Navigation) view. The 'アクションナビ' view shows a list of action categories to choose from, including: 新しいアクションカテゴリー..., 問い合わせ管理, 案件管理, 社内ヘルプデスク, 不具合管理, アンケート, 決裁書, and その他の申請書. At the bottom, there's a '+ カテゴリーの新規追加' button and a 'データベースに切替' button.